

1. 日常の学習状況・課題について

学習状況

基礎技能の習得レベルに個人差があるものの、実習や製作などの作業に関心がある生徒が多い。

授業規律はおおむね良好で授業展開もスムーズに行われているが、集中力が続かないことがあり、私語が多くなったり、作業のミスがあったりする生徒がいる。

課題

- ① 忘れ物をしたり、配付したプリントを紛失したりする生徒が少なからずいる。
- ② 学習した知識や習得した技能を実生活で使う機会が少ないため、生活をより良くするために工夫し、創造する力が乏しい。
- ③ 基礎技能の習得に個人差があり、実習の進度差を負担に感じている生徒がいる。
- ④ 知識を得ることを重視し、実生活にどのように生かされるかを理解していない。
- ⑤ 説明や解説を集中して聞くことは苦手な生徒が多いため、全体的に作業ミスが多い。また、失敗した部分をやり直す根気がない生徒もおり、最後までやり遂げることができない生徒がいる。

2. 改善の計画

- ① チャイム着席を呼びかけるとともに、授業の始めと終わりの挨拶を徹底する。
- ② 次回の持ち物の告知を授業内で行い、配布したプリントのファイル保管を徹底させる。
- ③ ワークシートを單元ごとに作成して、指導を行う。その際、記入の仕方を指導し、單元が終わるごとに回収して評価する。
返却時に、理解していない部分がある場合は、補足説明を行う。
- ④ ICT 機器(書画カメラ・プロジェクター)を活用し、視覚化することで興味関心をもたせて集中させ、理解を促進させる。
- ⑤ 作品は、最後までやり遂げる充実感や完成させる喜びを体験させ、自己肯定感を高められるようにする。必要に応じて、放課後に補習を行う。
- ⑥ 環境と生活について考える題材を多く取り上げ、新聞やニュースの話題を例にするなど、社会と実生活のつながりについて実感できる機会を増やしていく。
- ⑦ 生徒自身の生活体験を豊かにさせるとともに、生活を大切にしていこうという意識を育ていく。そのために、家庭学習として学んだことを実践する課題を出して取り組ませて、自立する力を身に付けさせる。
夏・冬・春休みに「課題と実践」に取り組ませる。(宿題)

3. プランの評価方法

- ① 授業アンケートを実施し変容を見る。
- ② ワークシート、作品の点検を行う。
- ③ 授業内で生徒の取り組みを観察する。